

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～9組

使用教科書：（精選 古典探究（大修館書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、日本語の言語文化の担い手として生涯にわたり能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。また、文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞など表現の特色について理解を深める。	読むことを通じて、関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章を元に、自分の物の見方、感じ方、考え方を深める。	古典の文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。また、登場人物の言動などから多様な価値観を読みとろうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話	書	読						
1 学 期	A 説話 【知識及び技能】和歌の修辞を理解し、読み手の心情を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】小式部の和歌や置かれた状況からその心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】小式部の歌で用いられた修辞や歌枕について調べ学習などで理解する。	・指導事項 「十訓抄」（大江山いくのの道） ・教材 教科書、国語便覧、体系古典文法、プリント、一人一台端末	○	○	○	【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を増やすことで、語感を磨いている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の表現を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	8
	B 随筆 【知識及び技能】古典を読むために必要な文法のまきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】読むことにおいて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を理解すると共に、文章の構成や展開、表現の特色を読みとる。 【学びに向かう力、人間性等】作者の物の見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。	・指導事項 「方丈記」（行く河の流れ） ・教材 教科書、国語便覧、体系古典文法、プリント、一人一台端末	○	○	○	【知識及び技能】文中で用いられている助動詞の意味を理解し、的確に現代語訳している。 【思考力、判断力、表現力等】文中の対となる表現を抜きだし、関係をまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】作者の考えと重なる自己の体験を挙げて説明しようとしている。	○	○	○	8
	C 漢文 【知識及び技能】「漱石枕流」の成立時の文化やその背景を正確に理解し、説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】その時代の故事の引用の仕方、思想について理解し、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】登場人物の考え方について関心を持ち、又その思想について理解しようとしている。	・指導事項 「漱石枕流」 ・教材 教科書、国語便覧、体系古典文法、プリント、一人一台端末	○	○	○	【知識及び技能】古典の作品やその文章の種類と特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について考える。 【学びに向かう力、人間性等】中国古代思想史について興味を持ち、現代に与えた影響について理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
D 日記 【知識及び技能】和歌の修辞を理解し、作者の心情を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】作品の持つ虚構性を理解し、和歌などから作者の心情を味わって読む。 【学びに向かう力、人間性等】作者の都に対する郷愁や、娘を思う親心を読みとろうとしている。	・指導事項 「更級日記」（門出・源氏の五十余巻） ・教材・教材 教科書、国語便覧、体系古典文法、プリント、一人一台端末	○	○	○	【知識及び技能】文中の敬語を抜きだして、その用法についての的確に説明している。 【思考力、判断力、表現力等】「源氏物語」や都を憧れる作者の心情を理解し、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】「更級日記」や作者について関心を持ち、女流日記文学への理解を深めようとしている。	○	○	○	10	
C 漢文 【知識及び技能】「論語」の特徴やその背景を正確に理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】孔子とその弟子との関係やその思想について説明している。 【学びに向かう力、人間性等】孔子とその弟子について関心を持ち、又その思想について理解しようとしている。	・指導事項 「論語」 ・教材 教科書、国語便覧、精選漢文、プリント、一人一台端末	○	○	○	【知識及び技能】古典の作品やその文章の種類と特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について考える。 【学びに向かう力、人間性等】中国古代思想史について興味を持ち、現代に与えた影響について理解しようとしている。	○	○	○	8	
定期考査						○	○		1	

2 学 期	F 物語 【知識及び技能】 敬語の用い方から、省略されている主語を的確に理解し、人物関係を正しく読みとっている。 【思考力、判断力、表現力等】 若紫の人物像を容貌、言動、人間関係などを踏まえて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 垣間見の場面では光源氏が主な視点人物であることを、光源氏の動作などからの確に読みとろうとしている。	・指導事項 「源氏物語」（光源氏の誕生・若紫との出会い） ・教材 教科書、国語便覧、体系古典文法、プリント、一人一台端末	○	○	○	○	○	○	○	○	12		
	G 漢文 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景を踏まえながら古典を読み、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材に意欲を持って取り組み、教材以外の故事成語についても積極的に調べようとしている。	・指導事項 「十八史略」（水魚の交わり） ・教材 教科書、国語便覧、精選漢文、プリント、一人一台端末	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	
	定期考査										○	○	1
	H 物語 【知識及び技能】 「大鏡」の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の関係、その行動や心情を捉え、人物や事件について作者がどのように思っているかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中の花山院、兼家などの心情を積極的に読みとることができる。	・指導事項 「大鏡」（花山院の出家） ・教材 教科書、国語便覧、体系古典文法、プリント、一人一台端末	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	
3 学 期	I 漢文 【知識及び技能】 「史記」の文章表現の妙味や、そこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な人物像を通して人間の生き方についての考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 項羽と劉邦のどちらが英雄の器であるかを考え理由を含めて文章にまとめる。	・指導事項 「史記」鴻門の会（一） ・教材・教材 教科書、国語便覧、精選漢文、プリント、一人一台端末	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	
	定期考査										○	○	1
	J 随筆 【知識及び技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら作品を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 宮廷生活の中で語られる作者の感性と機知を理解しようとしている。	・指導事項 「枕草子」（宮に初めて参りたるころ） ・教材 教科書、国語便覧、体系古典文法、プリント、一人一台端末	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	
	K 漢文 史伝 【知識及び技能】 「史記」の文章表現の妙味や、そこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な人物像を通して人間の生き方についての考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 項羽と劉邦のどちらが英雄の器であるかを考え理由を含めて文章にまとめる。	・指導事項 「史記」鴻門の会（二） 「史記」項王の最期（一） ・教材・教材 教科書、国語便覧、精選漢文、プリント、一人一台端末	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	
定期考査										○	○	1	
合計											105		